

# ConMas i-Reporter

## カスタムURLスキームによる システム連携の概要説明

株式会社シムトップス  
2015年9月28日

# 改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2014-06-30	V4.2	--	初版を発行しました。
2014-09-17	V4.2	P6	複数接続先が設定されている場合のカスタムURLスキームを追記
2015-09-28		P7	i-Reporter for Windows 2.2.0014 より、カスタムURLスキームに対応 Windows版 i-ReporterカスタムURLスキームの注意点

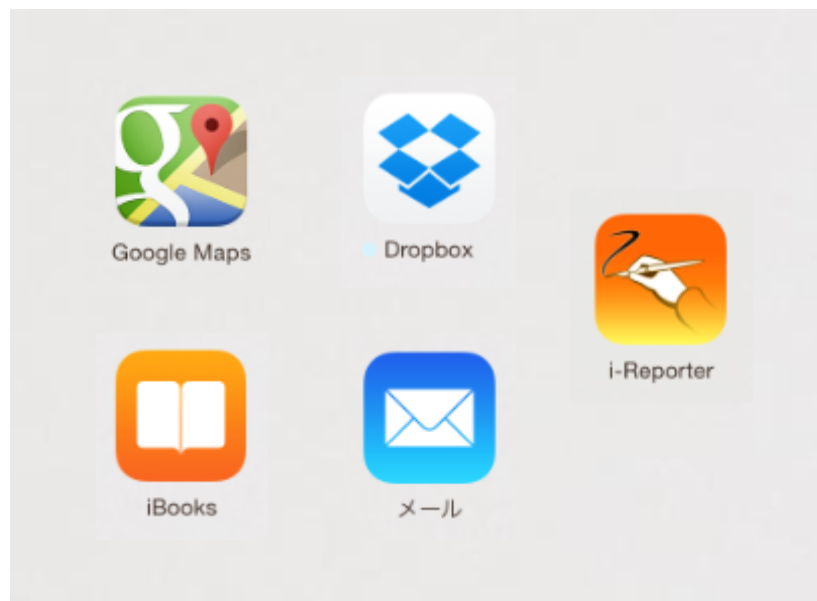
# カスタムURLスキームとは

- iOS/Windowsが実装するアプリ間連携の仕組みです。
- Webブラウザからアプリを起動できます。  
(別アプリから指定のアプリも起動できます)
- アプリを起動時にパラメータを渡して起動時の動作を指定できます。

2015/9/28 i-Reporter for Windows 2.2.0014 より、カスタムURLスキームに対応しました。



地図アプリの起動  
文書アプリの起動  
メールの起動  
... e t c



カスタムURLスキームを実装してるアプリを起動できます。

また、起動の際にパラメーターを渡して動作を指定できます。

e x) 地図アプリに住所を渡して起動時に渡した住所の地図を表示される。

# i-ReporterのカスタムURLスキームで、できること

- アプリ起動（+自動ログイン）  
i-Reporterアプリを起動します。
- 定義から帳票作成（+自動、手動ログイン）  
定義IDを指定してi-Reporterアプリを起動することにより  
指定した定義から帳票新規作成モードで起動します。
- 帳票の編集（+自動、手動ログイン）  
定義IDを指定してi-Reporterアプリを起動することにより  
指定した定義から帳票新規作成モードで起動します。

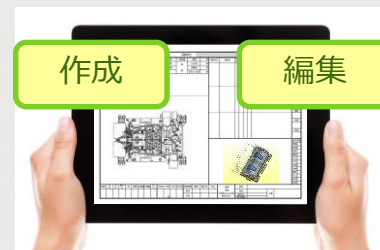


起動



i-Reporter

パラメーターを利用することで  
アプリ起動と同時に希望の帳票の作成、編集を  
即時に行うことができます。



自動ログインはパラメーターに暗号化済みの  
ログインID、パスワードを渡すことで起動と同時にサーバーへ自動でログインを行います。  
あらかじめアプリ側でログインしておく場合は、自動ログインは必要ありません。

**※自動ログインのためパラメーター用暗号化済みログインID、パスワードを取得するには「外部連携APIオプション」  
が必要です。**

# カスタムURLスキームを使用したシステム構築イメージ



ブラウザで利用する  
Web業務アプリケーション



作業指示書作  
成CSV

レスポンス  
(帳票ID)

ConMas Web API  
ASP.NET Web  
Application



帳票ID:1	帳票ID:2
帳票ID:3	帳票ID:4

【自動帳票作成APIで帳票作成】  
工事番号、部品番号、工番など  
必要な情報埋め込んで生成する

取得

i-Reporterで採番された帳票IDが返されるので  
カスタムURLスキームのパラメーターのように保持する。

起動

000生産管理システム

作業工程一覧

工事番号	部品番号	工程番号	担当	作業指示書
A00001	B001	K01	Aさん	<a href="#">i-Reporterで開く</a>
A00001	B001	K02	Aさん	<a href="#">i-Reporterで開く</a>
A00001	B002	K03	Aさん	<a href="#">i-Reporterで開く</a>
A00001	B002	K04	Aさん	<a href="#">i-Reporterで開く</a>

作業指示書
<a href="#">i-Reporterで開く</a>
<a href="#">i-Reporterで開く</a>
<a href="#">i-Reporterで開く</a>
<a href="#">i-Reporterで開く</a>

帳票-修正指示書

1. 工事番号	2. 部品番号	3. 工程番号	4. 担当者	5. 印刷日	6. 帳票ID	7. 帳票名	8. 印刷機	9. 印刷部	10. 印刷日	11. 印刷部	12. 印刷部	13. 印刷部	14. 印刷部	15. 印刷部	16. 印刷部	17. 印刷部	18. 印刷部	19. 印刷部	20. 印刷部

業務システムデータと紐  
付したi-Reporter帳票ID  
をパラメータにして、カ  
スタムURLスキームのリン  
クタグをページに埋め込  
む。

カスタムURLスキームにて起動後、  
パラメーターの帳票IDを元  
に指定帳票を編集モードで開くことで  
業務アプリケーションとの連動が可能

# 複数接続先が設定されている場合のカスタムURLスキーム

V4.2.3405より複数接続先設定されたiPadでもカスタムURLスキームを利用して入力帳票起動、帳票定義起動が出来るようになります。

## 複数接続先設定されたi-Reporter



test01サーバー)  
接続先URL:http://test02.conmas.com/ConMasWeb/....

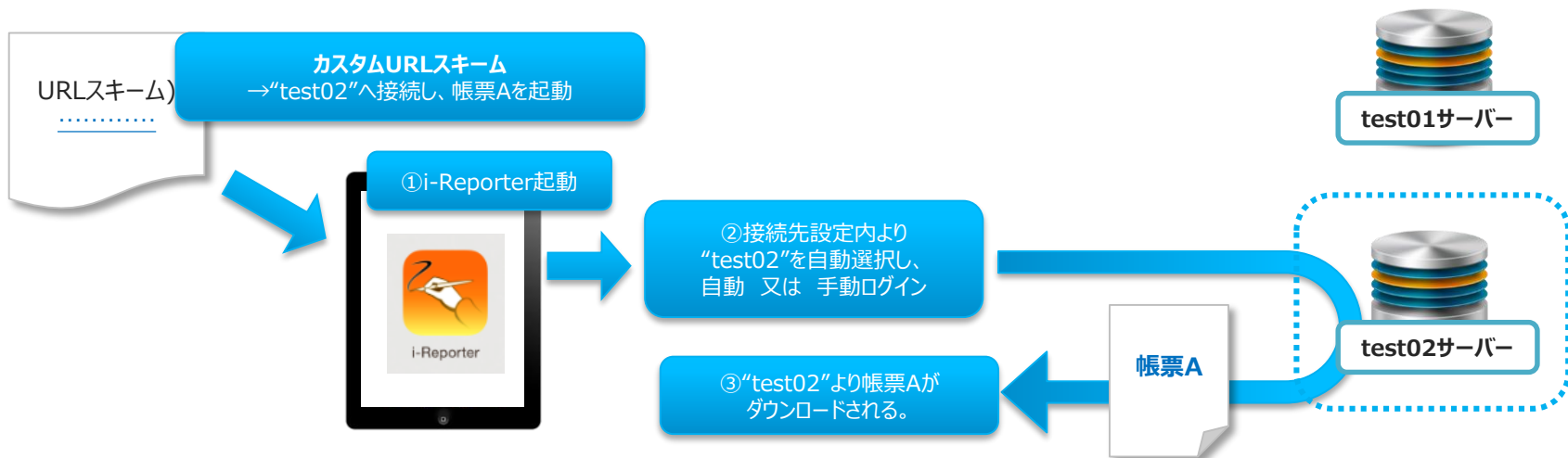


test02サーバー)  
接続先URL:http://test01.conmas.com/ConMasWeb/....

このような設定をしたi-Reporterであっても、カスタムURLスキーム内のパラメーターにサーバー指定をする事で、「〇〇サーバー上の〇〇帳票を起動」する事が可能となります。

細かな記述方法につきましては、「[カスタムURLスキーム\\_インターフェース仕様](#)」を参照ください。

※Window版i-Reporterは接続先設定にて複数サーバーの切り替えに対応していないため、カスタムURLスキーム内のサーバー指定のパラメーターは無視されます。



# Windows版 i-Reporter カスタムURLスキームでの注意点

- Windows版 i-ReporterでカスタムURLスキーム機能を利用するためには、管理者権限でアプリケーションのインストールをお願いいたします。
- Windows版 i-Reporterは、接続先設定にて複数サーバーの切り替えに対応していないため、カスタムURLスキームでのサーバー指定はできません。
- URLスキーム文字列は基本的にiOSと同じ仕様ですが、Windows7 + Internet Explorer など一部の組み合わせからはアプリが起動しないことが確認されているため、専用のカスタムURLスキーム文字列を用意しています。

細かな記述方法につきましては、「カスタムURLスキーム インターフェース仕様」を参照ください。windows版URLスキーム文字列のサンプルを記載しております。